

### 子どもらの声に励まされて



#### さいとうさんより

ボランティアは1人ひとりが少しだけ手を出す。その代わりみんなでやるのが肝要です。特定の人に負担がかかると、長続きしないからです。そして愉しくやれば、運動の輪は広がります。

#### ある日のさいとうさんの1日

- 11:00 「ピースあいち」で戦争体験を語る
- 12:00 玄関受付に座る
- 14:00 常設展の解説をする
- 15:00 休憩・お茶を飲む
- 16:00 退館

名古屋市名東区よもぎ台の地に、戦争と平和の資料館ピースあいち(略称「ピースあいち」)がオープンしたのは、2007年5月のことでした。民設民営の小さな平和資料館です。ここにはおよそ90人のボランティアがいます。私もその1人です。

先の戦争が終わった時、私は清須と甚目寺にまたがる軍事基地にいました。兵士ではなく、学徒動員で基地司令部の防空壕造りに携わっていました。そこで「終戦の詔勅」をラジオで聴きました。世に言う「玉音」放送です。中学3年生でした。したがって、戦争の実態は鮮明に覚えています。

ボランティアとしての私の任務は、館での隔週の当番と『ピースあいちニュース』の編集スタッフ、そして戦時を語る「語り部」の3つです。語り部での話の筋立ては、次の4点。日本はなぜ戦争をしたのか、戦時の市民の

暮らし、空襲の実態とその被害、どのようにして平和を守るかです。

話のなかでは、「配給」とか「空襲」といった戦時用語を用紙に書き、ホワイトボードに掲示します。戦時には「蛙(の足)」や「イナゴ」を食べましたが、その絵も見せます。話に合わせて、私は身振り手振りよくボディアクションを演じます。爆弾が落ちてくるときは、「ヒュー」という音声を入れ、地上に激突したときは、右足で床を大きく踏みつけます。いきなりのでかい音なので、子どもさんらは吃驚です。

1週間後に、担当の教諭から子どもさんの感想文が送られてきます。「斎藤さんの話は、授業や本で読むのと違って気持ちが伝わってきます」とありました。胸に響いたということでしょう。また、「僕は戦争はかっこいいと思っていましたが、斎藤さんの話を聞いて考えを変えることにしました」と6年生の男の子。戦時の暮らしのひどさや戦争の恐ろしさを記したあと、「斎藤さん、元気で長生きしてください」ともありました。戦争を知っている人たちはやがて死んでいく。しかし、戦時に使われたモノは憶えている。そのモノでもって平和の尊さを訴えるために「ピースあいち」を造ったのだと私は話します。これを受けての子どもさんの言葉です。泣かせる台詞です。私は、こうした子どもさんらの声に励まされて、ボランティアを続けています。



### ボランティア初めの一歩 大切なマナー&ルール

希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件(ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい)を正確に伝えましょう。メールでのやりとりは日常的になりましたが、プライベートなものとは違います。メールで問い合わせるときは、名前と連絡先を忘れずに書きましょう。あとで電話を入れておくのが失礼ではない方法です。ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。

### 第2・4日曜 医療関係の資格をボランティアに役立てませんか?

医療 名古屋市中区



病院勤務の傍らボランティアに励む看護師

HIV検査を希望する人がカウンセリングを通じて、検査を受けるかどうか自主的に判断できるように支援する活動です。受検される方の採血や診察を担っていただける医療職の方を募集しています。受付やカウンセリングに関わっていただける一般の方も、研修を受けることで学びながら活動に参加できます。

- 日時: 第2・4日曜日 13:30 ~ 18:00
- 場所: 名古屋市青少年文化センター 名古屋市中区栄3-18-1
- 連絡先: 特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター-中部支部  
担当: 右田・大郷  
名古屋市昭和区花見通3-17  
TEL: 052-831-2290 (10:00 ~ 15:00)  
FAX: 052-831-2268 E-mail: chubu@npo-jhc.com
- その他: 【交通手段】公共交通機関のみ  
【最寄り駅】地下鉄名城線「矢場町」徒歩5分、東山線・名城線「栄」徒歩8分  
【持ち物】医師・看護師等は免許証のコピー  
【URL】<http://www.npo-jhc.com/>

ボランティア数: 50人  
年齢層: 20代 ~ 70代  
(多い年代) 40代  
男女比: 男性3:女性7

### 随時 障がいのある子どもたちと遊びませんか?

青少年 障害者 名古屋市中川区



季節に合わせた活動も行っています!

高校生以下の障がいのあるお子さんを対象に、創作・公園での散歩・おやつ作り・音楽・作業などの活動のお手伝いをしていただける方、また、お子さんたちと一緒に遊んでくださる方を募集しています。活動場所は、(未就学)児童発達支援アシスト にこここ園、(小学生)放課後等デイサービスアシスト、アシスト、(中・高生)放課後等デイサービスももの木・りんごの樹・くりの木6か所です。

- 日時: 平日 14:00 ~ 18:00、土曜日 13:00 ~ 17:00  
長期休み 10:00 ~ 17:00 時間は相談に応じます
- 場所: 名古屋市中川区中郷5-256
- 連絡先: 有限会社 ライフサポート 担当: 鈴木  
TEL: 052-398-6821 (10:00 ~ 19:00)  
FAX: 052-398-6831 (10:00 ~ 19:00)  
E-mail: info@day-assist.jp
- その他: お申込みは、電話にてお願いします。  
【最寄り駅】地下鉄東山線「高畑」徒歩20分  
【持ち物】動きやすい服装、運動靴【資格、条件等】子どもが好きな方  
【URL】<http://www.day-assist.jp/>

ボランティア数: 6人  
年齢層: 10代 ~ 50代  
(多い年代) 20代  
男女比: 男性1:女性2



「語り部」の様子